

令和元年度学校評議員に係る諸報告について（報告）

1 学校評議員(学校関係者評価者)に意見を求めた事項及び学校評議員の主な意見

事項	学習指導・生徒指導
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・公開授業等を通して生徒の主体的で深い学びを、ICTやT.Tの活用も含めた授業づくりの研究を学校全体で取り組んだことは意義がある。 ・少人数クラスの魅力を生かしたきめ細やかな指導の中で、生徒に寄り添い個々に役割を持たせ親身に指導されている。生徒を社会に旅立たせる教育の大切さを見せてもらっている。
事項	進路指導
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の職場見学や先生方も地域とつながり、地域に送り出す姿勢も必要。 ・社会に適応できるコミュニケーション力を育むために、総合的な探究の時間「さくらクエスト」は特徴的な取り組みで今後期待できる。
事項	特色ある教育活動
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の活躍が毎月発行の「田尻さくら通信」で知ることができる。 ・不登校の改善等素晴らしい特徴があるが、それ以外の多様な学生へも対応できるよう期待する。 ・10年を越える社会人聴講生との共同的な学びは、地域と共に歩む学校へと進化している。

2 上記1を踏まえて、学校運営の改善に取り組んだ(取り組む予定の)事例及び成果(期待される成果)

事例	<ul style="list-style-type: none"> ○「田尻さくらの『主体的・対話的で深い学び』の実現を目標に、ICTやT.Tも活用しながらその実現に向けて取り組んでいる。また、公開授業週間にあわせ、職員間でも互見授業を行いそれぞれの授業改善に役立っている。 ○自己を認め他者や社会と関わりながら、職業に関する総合的な学習を「さくらクエスト」のプログラムを今年度から導入。その探究活動の中から段階的に進路意識の向上を図り、進路目標達成を目指す態度を育てる。 ○少人数授業の実施や、個々の能力に合わせた対話的な授業を通して生徒の理解度を高める。 ○意欲的に取り組める学校設定科目の充実や、ICTを活用した基礎学力向上を目指した学習支援方法を探る。 ○様々な行事において、生徒がより主体的に活躍できるよう環境を整え指導していく。さくら文化講演会や、伝統文化に触れる行事を経験させながら、生徒の感情を豊かにし心を育む取組も充実させる。 ○「社会人聴講生友の会」を発足させるなど、開かれた学校として地域に情報を発信し、本校および生徒のサポータとして、互いの関係性を高める。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○きめ細やかな指導として、心のケアが必要な生徒に加え、問題行動を起こした生徒に対しても、必要に応じ教育相談・特別支援委員会で支援的な指導方法を検討し、全職員での組織的な対応が可能となった。 ○コミュニケーション力の向上を図るため、生徒個々に役割を与え、各々が主体性をもって活動できるよう、総合的な探究の時間や諸行事で意識的に指導した。 ○学校通信の発行や社会人聴講生制度の充実で、開かれた学校から地域と共に歩む学校として評価されつつある。